

2024年9月の沖縄地方の平均気温は過去最高を記録

沖縄地方の地域平均気温平年差は+1.2℃となり、9月として1946年以降で最も高くなりました。また、海面水温（速報値）は、東シナ海南部（+1.6℃）と沖縄の南（+1.3℃）で9月として1982年以降で最も高くなりました。

9月の沖縄地方の地域平均気温平年差（※1）は+1.2℃で、9月としては統計を開始した1946年以降で最も高くなりました。地域平均気温の月の記録更新は、今年は4月と7月に続き3回目です。沖縄県内の25観測地点（アメダス等）でも、8地点で月平均気温の記録を更新しました。

日々の気温でも、与那国島では5日に9月としては観測史上最高の34.6℃、盛山では5日に33.9℃を観測しました。また、宮古島では1日に9月の日最低気温の高い方からの記録更新となる28.6℃、同様に西表島では17日に日最低気温28.9℃、大原でも17日に日最低気温28.5℃を観測するなど、暑い日が続きました。

9月の地域平均気温平年差の高い方からの順位

順位	年	地域平均平年差（℃）
1	2024	+1.2
2	2017, 2014	+1.1
4	2009	+1.0
5	2021	+0.9

平年値期間は1991～2020年。統計開始は1946年。

沖縄周辺海域の海面水温は、解析値のある1982年以降、9月としては、東シナ海南部で29.6℃（歴代1位）、沖縄の東で29.1℃（歴代8位）、沖縄の南で30.3℃（歴代1位）（いずれも速報値）となりました。

この記録的な高温の主な要因は、上空の暖かい空気に覆われやすかったためです。また、高い海面水温に囲まれたことも寄与した可能性があります。更に背景として、春まで続いたエルニーニョ現象からラニーニャ現象への推移によって地球規模で中緯度帯が高温になっていることと、地球温暖化が影響していることが考えられます。

東シナ海南部と沖縄の南の海面水温が高かった主な要因は、記録的に高温となった7月以降、台風や熱帯低気圧等の影響を比較的受けにくかったためです。

※1 沖縄地方における地域平均平年差とは、平年値（1991～2020年の平均）と比べて、どのくらい高い（低い）のかを、地域全体でみるものです。那覇、名護、久米島、宮古島、石垣島、西表島及び与那国島における気象要素を7地点平均することにより算出しています。

問合せ先：沖縄気象台 地域防災推進課 担当 若松
電話：098-918-4012

1. 2024年9月 沖縄県内の気象官署及び特別地域気象観測所における平均気温 久米島で統計開始以降最も高くなりました。

観測地点	月平均気温 (°C)	平年値 (°C)	平年差 (°C)	統計開始以来の 高い方からの順位 (10位以内のみ)	9月としての これまでの最高		統計開始 年
					月平均気温 (°C)	年	
那覇※	28.8	27.9	+0.9	3	29.0	2009	1890
名護※	28.5	27.6	+0.9	4	28.7	2023	1966
久米島※	<u>29.0</u>	27.7	+1.3	1	29.0	2023	1958
南大東島	28.6	27.9	+0.7	7	29.2	2017	1942
宮古島※	<u>28.9</u>	27.6	+1.3	1	28.9	2014	1938
石垣島※	29.7	28.2	+1.5	2	29.9	2014	1897
西表島※	28.7	27.6	+1.1	2	28.8	2017	1954
与那国島※	28.8	27.5	+1.3	2	29.0	2014	1957

・赤字及び下線は9月の極値更新を表します。
・※印は沖縄地方における地域平均に用いている7地点を示します。

・値は速報値であるため修正されることがあります。
・)の付いた値は準正常値です。
・平年値期間は1991～2020年です。

2. アメダス地点の2024年9月の平均気温

伊是名、奥、渡嘉敷、伊原間、盛山、大原で統計開始以降最も高くなりました。

地点名	月平均 気温 (°C)	平年値 (°C)	平年差 (°C)	統計開 始年
伊是名	<u>28.7</u>	27.5	+1.2	1977
奥	<u>26.6</u>	25.6	+1.0	1977
北原	29.0	28.0	+1.0	2003
宮城島	28.1	27.5	+0.6	2008
渡嘉敷	<u>26.9</u>	25.8	+1.1	1977
安次嶺	28.9	28.4	+0.5	2003
糸数	26.9	26.0	+0.9	1977

北大東	29.0	28.5	+0.5	2003
旧東	28.6	28.2	+0.4	2003
下地島	28.8	27.9	+0.9	2003
鏡原	28.3	27.4	+0.9	2003
仲筋	29.0	28.1	+0.9	2003
伊原間	<u>29.1</u>	27.7	+1.4	1977
所野	28.8	27.9	+0.9	2003
盛山	<u>28.8</u>	27.7	+1.1	2013
大原	<u>28.7</u>	27.3	+1.4	1978
波照間	28.9	27.7	+1.2	1979

・赤字及び下線は9月の極値更新を表します。
・平年値がある地点のみ掲載しています。

・値は速報値であるため修正されることがあります。
・平年値期間は1991～2020年です。

3. 沖縄周辺海域で9月の月平均海面水温が高かった年（上位順）

東シナ海南部			沖縄の東			沖縄の南		
年	平均海面水温 (°C)	平年差 (°C)	年	平均海面水温 (°C)	平年差 (°C)	年	平均海面水温 (°C)	平年差 (°C)
2024	29.6	+1.6	2021	29.6	+1.1	2024	30.3	+1.3
2023	29.2	+1.2	2010	29.4	+0.9	1998	29.9	+0.9
2021	29.0	+1.0	1999	29.4	+0.9	2017, 2014	29.8	+0.8

- ・ 解析値のある1982年以降の順位。2024年の値は速報値であるため修正されることがあります。
- ・ 平年値期間は1991～2020年です。

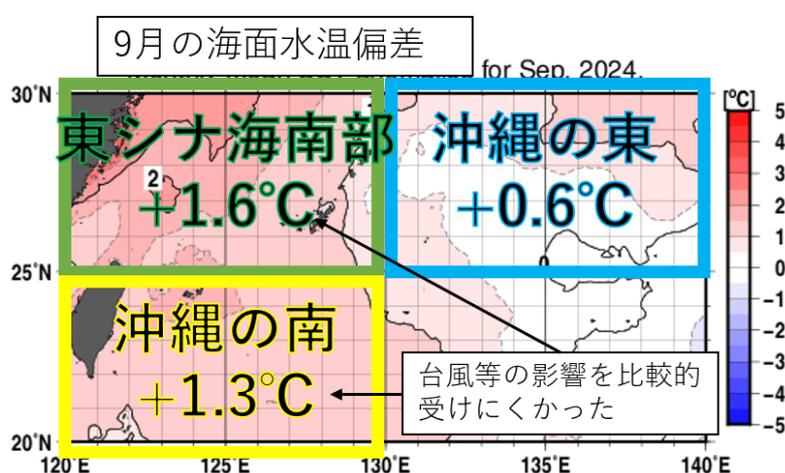


図1 9月の海面水温偏差

暖色系は平年より海面水温の高い領域。寒色系は平年より海面水温の低い領域。図中の緑枠（左上）は「東シナ海南部」、青枠（右上）は「沖縄の東」、黄枠（左下）は「沖縄の南」の海域として海面水温を平均する領域。

4. 気温と海面水温が高くなった要因

沖縄地方では、熱帯低気圧などの影響を受けやすかった時期があったものの、日本付近で亜熱帯ジェット気流が持続的に北に位置したことで、上空の暖かい空気に覆われやすかった（図2）ことにより、沖縄地方では記録的な高温となりました。暖かい空気に覆われやすかった背景として、春まで続いたエルニーニョ現象からラニーニャ現象への推移によって地球規模で中緯度帯が高温になっていることと、地球温暖化が考えられます。沖縄地方を囲む海面水温が高い状態にあることも関係している可能性があります。

沖縄地方周辺の海面水温は、強い日射の影響と台風によるかき混ぜ効果が小さかった影響で、7月に沖縄の東で30.6°C、沖縄の南で30.8°C、8月に東シナ海南部で30.6°Cと、通年での歴代最高を各海域で記録しました。その後も東シナ海南部と沖縄の南では台風や熱帯低気圧等の影響を比較的受けにくかったことから、9月も海面水温はそれぞれの海域で記録的な高温となった（図1）と考えられます。さらに、地球温暖化による海面水温の上昇傾向も背景にあると考えられます。

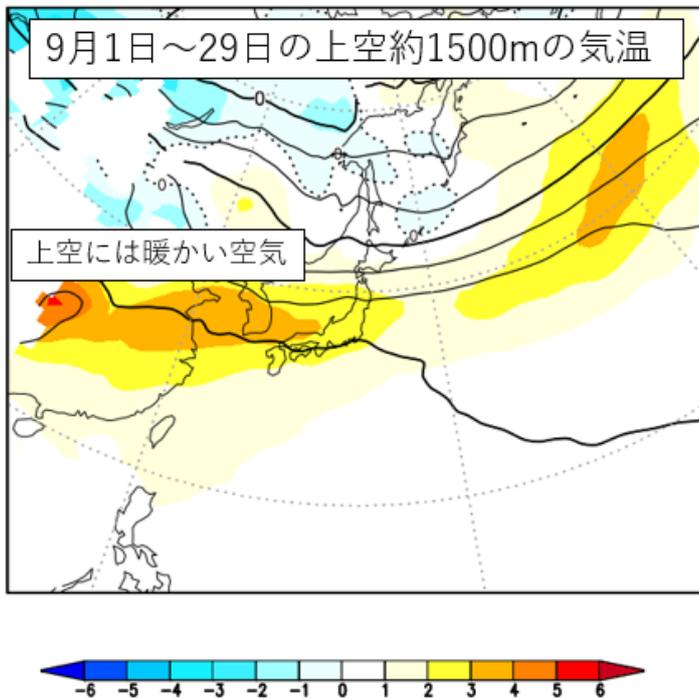


図2 9月1日～29日平均の上空約1500mの気温（実線）と平年偏差（陰影）
暖色系は平年より気温の高い領域。寒色系は平年より気温の低い領域。

月別、旬別の沖縄県の天候についての詳細は、「沖縄地方の天候」や「沖縄県農業気象旬報」をご覧ください。

沖縄地方の天候：<https://www.data.jma.go.jp/okinawa/data/tenko/tenko.html>

沖縄県農業気象旬報：<https://www.data.jma.go.jp/okinawa/data/nougyo/nougyo.html>

今後の見通しの詳細は、「季節予報」や「海洋の健康診断表」をご覧ください。

季節予報：

<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/kaisetsu/?region=011100&term=P1M>

海洋の健康診断表：

<https://www.data.jma.go.jp/kaiyou/data/db/kaikyo/ocean/forecast/month.html>